

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

 <p>画像左：施設内部、右：袋入り製品</p>	【施設名称】 九頭竜森林組合森もり炭工場
	【事業主体】 九頭竜森林組合
	【所在地】 福井県大野市
	【運転開始年】 平成 4 年（1992 年）
原材料および利用量	樹皮（800t / 年）
生産物（種類）	バーク炭
利用方法	土壌改良剤や床下調湿材として地元農家や住宅建設関係業者へ販売
導入目的・経緯	木材生産過程で発生する膨大な樹皮を単に焼却処分するのではなく、炭化して利用することにより、林業の活性化を図り、循環型林業を構築する
設備仕様	パルプ原料となるチップ生産過程で発生するバーク（樹皮）の処理に対応するため、バークを炭化し、土壌改良材や住宅用床下調湿材を製造
稼働状況	バーク炭（400 t / 年）
経済性関連データ	平成 3 ～ 5 年度特用林産産地化形成総合対策事業
導入効果	焼却処分しないことで、木質資源の有効利用に貢献している
運営上の課題	生産コストの削減と販路の拡大
備考・参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年度 北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例集 ・北陸農政局 HP（H17 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例、H17 年度林業機械化事例(北陸管内木質バイオマス利用)）